

楠隼高校の3人が高校生ビジネスコンテストでグランプリ受賞の快挙！

8月に開催された、高校生ビジネスコンテストで最優秀ビジネスプラン賞を受賞した楠隼高校2年生の末利仁さん、奥村洸紀さん、谷口文太さんの3人が9月24日、町長へ受賞の報告をしました。

この高校生ビジネスコンテストには全国から271チームが応募し、書類や動画審査を経て6チームがファイナリストとして、大阪・関西万博会場でプレゼンテーションを行いました。3人はその中で見事頂点に輝く快挙を達成しました。

チーム名は「笑竹 Buy」（しょうちくばい）。昨年の台風で学校裏山の竹林が敷地内に倒れてきた経験から、放置竹林の解消と竹から飼料と敷料を作って畜産農家に提供し、使用後の敷料と家畜のフンを有機肥料として作物農家に販売する循環型モデルを竹林面積全国1位の鹿児島県で実現できないか、約半年間リサーチを重ねて構想を練りました。

チームリーダーの末利さんは、「受賞したときは驚いて、実感が湧かなかったです。今振り返ると、頑張ったから結果がついてきたのかなと思います」と話されました。



▲左から末利仁さん、永野町長、奥村洸紀さん、谷口文太さん



▲竹は粉碎してチップにし、飼料用は発酵、敷料用は乾燥させ畜産農家に定額利用で提供するシステムを考案

かわまちづくり登録証手交式

9月2日、本庁にて国土交通省より「高山川かわまちづくり」登録証が交付されました。

本事業は国土交通省の「かわまちづくり支援制度」に高山川の一部が登録されたことによるものです。

今後、イベントの企画や親水護岸・管理用通路等の整備をはじめとした、水辺空間の持続可能な利活用と水辺整備を推進し、「まちの魅力を最大限に活かす」かわまちづくりに取り組んでいきます。



肝付町シルバー人材センターが手縫いのぞうきを町内各施設に配布

9月16日、肝付町シルバー人材センターが手縫いのぞうきを町内各施設に配布するのに際して、町長へ手渡しを行いました。

肝付町シルバー人材センターは独自事業の一環として手縫いのぞうきんを作製しています。一針一針、会員の方々が心を込めて縫ったぞうきんは柔らかく、強く長持ちするそうです。

今回作られたぞうきんは、町立病院や子育て支援センターなどの町内各施設に配布され使用される予定です。

辺塚だいたい はさみ入れ式

9月12日、内之浦地区の大迫辰巳さんの果樹園にて辺塚だいたいはさみ入れ式が行われました。

会場では、辺塚だいたいの収穫が行われた後、辺塚だいたいを使用した料理のふるまいや、近日発売予定の酎ハイの紹介など様々なPRが行われました。

ベジフル内之浦部会会長の中野正輝さんは「今年もいいものができています。一生懸命収穫をしたい」と話され、式典の最後には出席者全員が「ガンパロー」三唱で士気を高めました。



本町の八月踊り（鹿児島県無形民俗文化財）

9月27日、県指定の無形民俗文化財である本町の八月踊りが行われました。八月踊りは、かつては肝属川沿いの各地で踊られていた江戸時代から受け継がれる伝統行事です。

本町の八月踊りは、浴衣に身を包んだ踊り手が踊る「表年」と、簡易的に行われる「裏年」に分かれており、今年は「裏年」の形式で開催されました。

当日は、神事と水神を祀る祠への鉦踊りの奉納が終わった後、集会所にて地域の方々が、三味線と胡弓、太鼓の音に合わせて踊りました。

秋の全国交通安全運動ゼロの日キャンペーン

9月25日、東部分団詰所前の道路で、秋の全国交通安全運動にあわせ街頭キャンペーンが行われました。

肝付町交通安全町民運動推進協議会が主催したもので、協議会の会員や肝付町交通安全協会のみなさんと、チラシや株式会社 橋口工業（大阪府）様より寄贈いただきましたリストバンドをドライバーの皆さんへ手渡しました。そのほか寄贈いただきました肩掛け反射材・反射ストラップを、町内の各小・中・義務教育学校の児童へ配布させていただきました。



CONTENTS：目次

広報きもつき vol.245 November 2025

- 02 特集 ひろめたい肝付町の魅力！
ふるさと納税で町を元気に！
- 06 まちの話題
- 08 百歳祝い ほか
- 09 町からのお知らせ
- 10 肝付町のご家庭ごみ事情
- 12 肝付町福祉共通券が始まります ほか
- 13 ～あなたと出逢う冬～ 大隅で縁結び
- 14 教育委員会コラム
- 15 学校ニュース

- 16 楠隼中学校・高校だより
- 17 セーフティライフくにも岳
- 18 町立病院だより ほか
- 19 身体が喜ぶハッピーレシピ
- 20 本の森
- 21 C I R トウのベトナム探訪 ほか
- 22 子育て支援施設紹介 ほか
- 23 人のうごき ほか
- 24 暮らしのカレンダー